八月（大）葉月（はづき）

奎宿

（八月七日立秋の節より
月命戊申五黄土星の月
暗剣殺　なし）

旧七月小
八月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	日入	月出	月入	満潮	干潮
1日	月	ひのえ いぬ	五黄	**八朔**、水の日、大宮氷川神社例祭、諏訪お舟祭、身代り不動尊火難除・病難除・がん封　旧七月小	四	仏滅	たいら	心	五む日	4.49	18.46	7.46	20.55	0.53	13.11
2日	火	ひのと ゐ	四緑	八戸三社祭、青森ねぶた祭（7日迄）、鬼貫忌	五	大安	さだん	尾	大みゃう	4.49	18.45	8.45	21.21	1.26	13.42
3日	水	つちのえ ね	三碧	秋田竿燈（6日迄）、多賀大社萬燈祭	六	赤口	とる	箕	ぶく日	4.50	18.44	9.46	21.46	2.00	14.13
4日	木	つちのとうし	二黒	旧七夕、土用二の丑、久留米祭	七	先勝	やぶる	斗	十し	4.51	18.43	10.48	22.14	8.41	21.00	2.40	14.47
5日	金	かのえ とら	一白	◐**上弦**二〇時〇七分、山形花笠祭（7日迄）、新潟祭（7日迄）	八	友引	あやぶ	牛	母倉	4.52	18.42	11.53	22.44	9.48	21.34	3.29	15.26
6日	土	かのと う	九紫	広島平和記念日、桑名石取祭、仙台七夕（8日迄）、東京佃祭	九	先負	なる	女	神よし	4.53	18.41	13.02	23.20	11.20	22.14	4.36	16.24
7日	日	みづのえたつ	八白	**立秋**二一時二九分、鼻の日	十	仏滅	なる	虚	百事吉	4.53	18.40	14.13	—	13.45	23.09	6.05	18.06
8日	月	みづのと み	七赤	下関忌宮数方庭祭（7日～13日）、天一天上、御嶽山雲上大御神火祭、不成就日	十一	大安	おさん	危	大くわ	4.54	18.39	15.25	0.04	—	15.29	7.27	19.51
9日	火	きのえ うま	六白	長崎原爆の日、宝塚中山寺夏会式、京都清水寺千日詣り（16日迄）	十二	赤口	ひらく	室	神よし	4.55	18.38	16.34	0.58	0.33	16.20	8.35	21.10
10日	水	きのとひつじ	五黄	館山安房神社祭、西鶴忌	十三	先勝	とづ	壁	大みゃう	4.56	18.37	17.35	2.03	2.10	17.00	9.35	22.09
11日	木	ひのえ さる	四緑	◙**山の日**、高知よさこい祭（9日～12日）	十四	友引	たつ	奎		4.56	18.36	18.26	3.16	3.21	17.35	10.29	22.57
12日	金	ひのと とり	三碧	○**望**一〇時三六分、旧ぼん、徳島阿波踊り（15日迄）	十五	先負	のぞく	婁	十し	4.57	18.35	19.09	4.32	4.15	18.07	11.18	23.38
13日	土	つちのえいぬ	二黒	月遅れ盆迎え火	十六	仏滅	みつ	胃	母倉	4.58	18.33	19.44	5.48	5.02	18.36	—	12.00
14日	日	つちのと ゐ	一白	奈良春日大社万灯籠、三隣亡	十七	大安	たいら	昴	ぢう日	4.59	18.32	20.15	7.00	5.45	19.03	0.17	12.38

一年を通じて、一番暑さを感じるのはこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝冷えをしたり、暑さのために疲労が蓄積したりし、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、小児、高齢者の日射病、熱中症には注意が必要。

【婚】この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。

仲人の由来と役割を簡単に説明しておこう。仲人とは結婚の媒酌人のことで、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」「日本書紀」の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んで、仲介者の必要度がたかまった結果であろう。仲人親といって夫婦の仮り親視する言葉もあるくらいである。

仲人役を引き受けたら、

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	日入	月出	月入	満潮	干潮
15日	月	かのえ ね	九紫	月遅れ盆、終戦記念日、全国戦没者追悼式、末伏、一粒万倍日	十八	赤口	さだん	畢	ぶく日	5.00	18.31	5.12	18.11	8.42	20.17	6.56	19.14	1.01	13.16
16日	火	かのと うし	八白	月遅れ盆送り火、京都・箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭、不成就日	十九	先勝	とる	觜	●	5.00	18.30	5.11	18.12	7.40	19.50	6.17	18.50	0.31	12.47
17日	水	みづのえとら	七赤	滋賀建部夏祭	廿	友引	やぶる	参	大みゃう	5.01	18.29	5.10	18.13	6.39	19.25	5.41	18.27	0.02	12.17
18日	木	みづのと う	六白	千葉だらだら祭（16日～22日）、伝教大師誕生会	廿一	先負	あやぶ	井		5.02	18.28	5.10	18.15	5.39	18.59	5.07	18.05	11.47	—
19日	金	きのえ たつ	五黄	◑**下弦**一三時三六分、秋田花輪ばやし	廿二	仏滅	なる	鬼	大みゃう	5.03	18.26	5.09	18.16	4.38	18.32	4.33	17.43	11.15	23.33
20日	土	きのと み	四緑	鎌倉市鎌倉宮祭	廿三	大安	おさん	柳	神よし	5.03	18.25	5.08	18.17	3.38	18.02	3.59	17.21	10.40	23.04
21日	日	ひのえ うま	三碧	旧地蔵ぼん	廿四	赤口	ひらく	星	神よし	5.04	18.24	23.59	14.21	23.16	13.22	11.25	21.31	4.44	15.07
22日	月	ひのとひつじ	二黒		廿五	先勝	とづ	張	神よし	5.05	18.23	—	15.16	15.42	22.22	9.48	20.59	3.36	14.50
23日	火	つちのえさる	一白	**処暑**一二時一六分、一遍上人忌、天しゃ	廿六	友引	たつ	翼	よろづよし	5.06	18.21	0.47	16.06	0.40	16.18	8.30	21.24	7.29	20.17
24日	水	つちのとり	九紫	京都地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会、不成就日	廿七	先負	のぞく	軫	十し	5.07	18.20	1.40	16.50	2.30	16.39	9.19	22.03	6.11	17.51
25日	木	かのえ いぬ	八白	東京亀戸天神祭	廿八	仏滅	みつ	角	百事吉	5.07	18.19	2.38	17.29	3.21	17.00	10.02	22.35	4.44	15.07
26日	金	かのと ゐ	七赤	富士吉田火祭、三隣亡	廿九	大安	たいら	亢	大みゃう	5.08	18.17	3.38	18.02	4.38	18.32	11.15	23.33	10.40	23.04
27日	土	みづのえ ね	六白	●**朔**一七時一七分、旧八朔、愛知一色大提灯、神奈川大山阿夫利神社秋季大祭、八せん始め、一粒万倍日　旧八月大	朔	友引	さだん	氐	天おん	5.09	18.16	5.10	18.15	5.39	18.59	5.07	18.05	11.47	—
28日	日	みづのとうし	五黄	二日灸、不成就日	二	先負	とる	房	●	5.10	18.15	5.11	18.12	7.40	19.50	6.17	18.50	0.31	12.47
29日	月	きのえ とら	四緑		三	仏滅	やぶる	心	ぶく日	5.10	18.13	6.39	19.25	5.41	18.27	0.02	12.17		
30日	火	きのと う	三碧		四	大安	あやぶ	尾	神よし	5.11	18.12	7.40	19.50	6.17	18.50	0.31	12.47		
31日	水	ひのえ たつ	二黒		五	赤口	なる	箕	大みゃう	5.12	18.11	8.42	20.17	6.56	19.14	1.01	13.16		

婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。

【葬】七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。

【祭】七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の大文字、徳島の阿波踊りなどが有名である。

この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街地は焼け野原になり、数十万の人が命を落とし負傷した。人類として忘れられない日である。

広島・長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。

「山の日」は山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日である。（平成二十八年施行）

十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。